

20. 啓発活動について

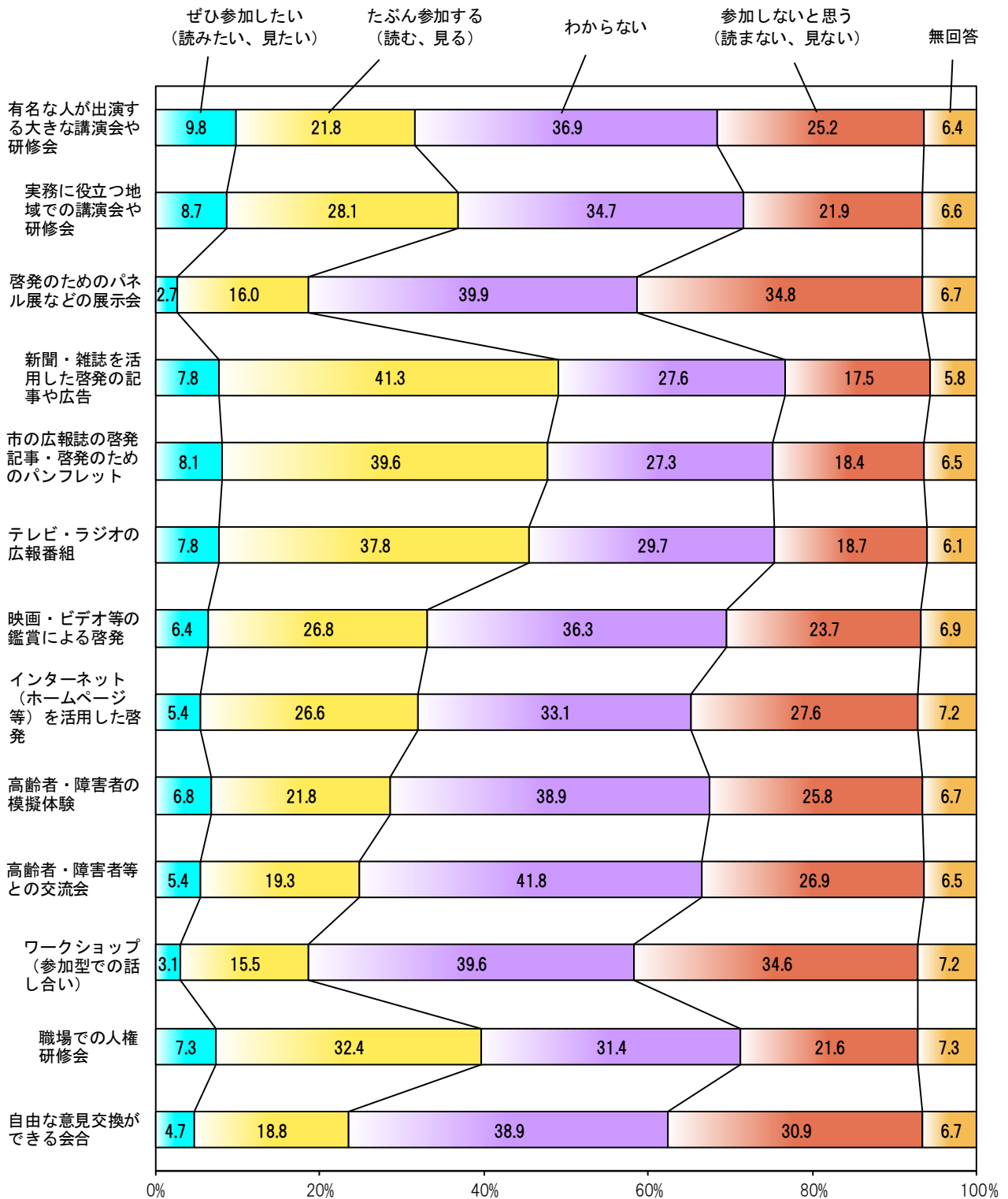
問42 人権に関する効果的な啓発活動

あなたは、人権に関するどのような啓発活動があれば参加したい(読みたい、見たい)と思いますか。
各項目ごとに、あてはまる番号に○をつけてください。

	ぜひ参加したい (読みたい、見たい)	たぶん参加する (読む、見る)	わからない	参加しないと思う (読まない、見ない)
記入例 →	①	2	3	4
有名な人が出演する大きな講演会や研修会	1	2	3	4
実務に役立つ地域での講演会や研修会	1	2	3	4
啓発のためのパネル展などの展示会	1	2	3	4
新聞・雑誌を活用した啓発の記事や広告	1	2	3	4
市の広報誌の啓発記事・啓発のためのパンフレット	1	2	3	4
テレビ・ラジオの広報番組	1	2	3	4
映画・ビデオ等の鑑賞による啓発	1	2	3	4
インターネット(ホームページ等)を活用した啓発	1	2	3	4
高齢者・障害者の模擬体験	1	2	3	4
高齢者・障害者等との交流会	1	2	3	4
ワークショップ(参加型での話し合い)	1	2	3	4
職場での人権研修会	1	2	3	4
自由な意見交換ができる会合	1	2	3	4
その他「ぜひ参加したい」「やって欲しい」と思う啓発活動などあればご自由にお書きください。				

全体集計

(単数回答、単位:%)

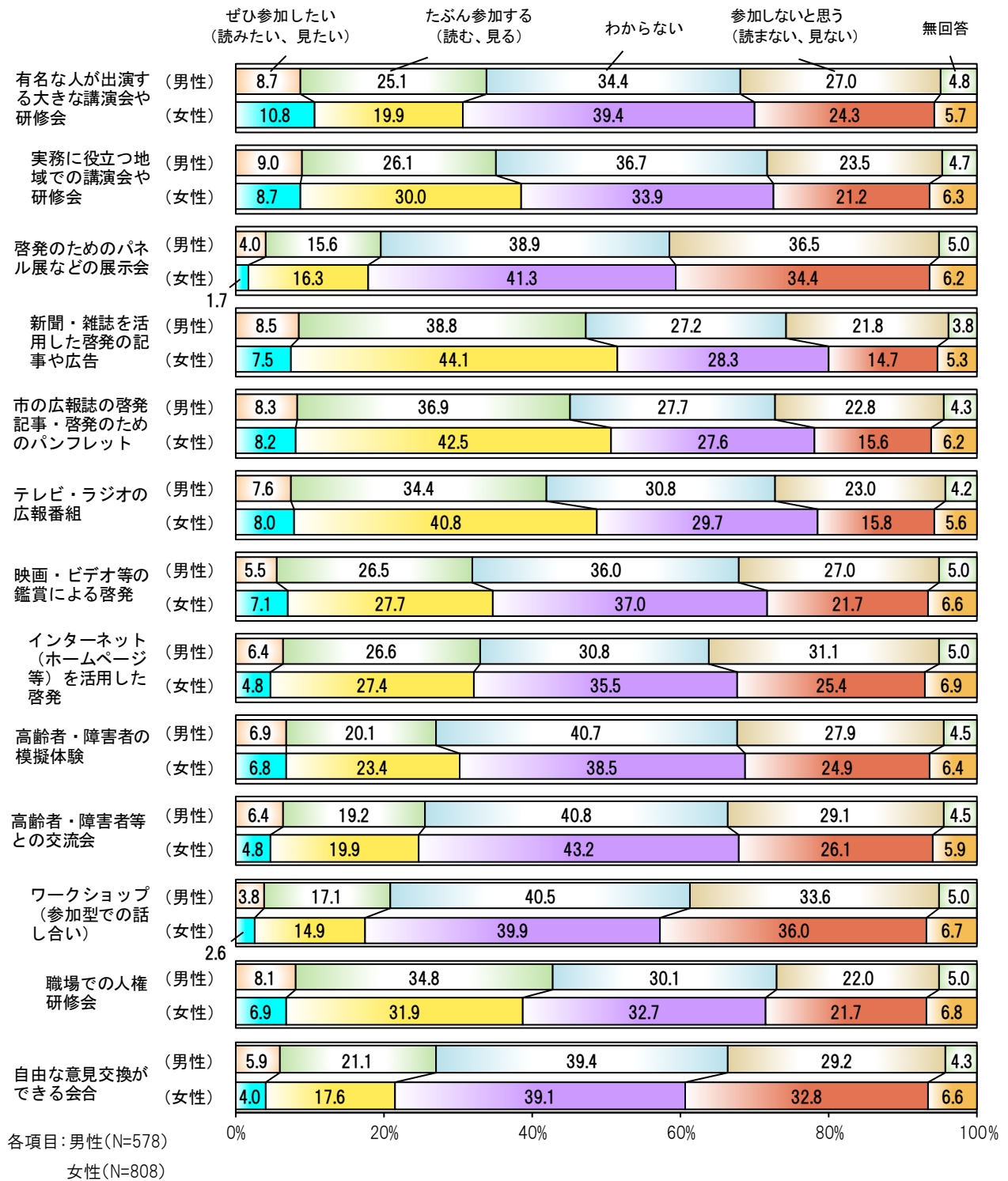


各項目(N=1415)

「ぜひ参加したい (読みたい、見たい)」と「たぶん参加する (読む、見る)」を合わせた割合をみると、「新聞・雑誌を活用した啓発の記事や広告」が49.1%と最も高く、次いで「市の広報誌の啓発記事・啓発のためのパンフレット」が47.7%、「テレビ・ラジオの広報番組」が45.6%となっている。

性別集計

(単数回答、単位：%)



性別でみると、「ぜひ参加したい (読みたい、見たい)」と「たぶん参加する (読む、見る)」を合わせた割合は男女ともに「新聞・雑誌を活用した啓発の記事や広告」の割合が最も高く、次いで「市の広報誌の啓発記事・啓発のためのパンフレット」となっている。

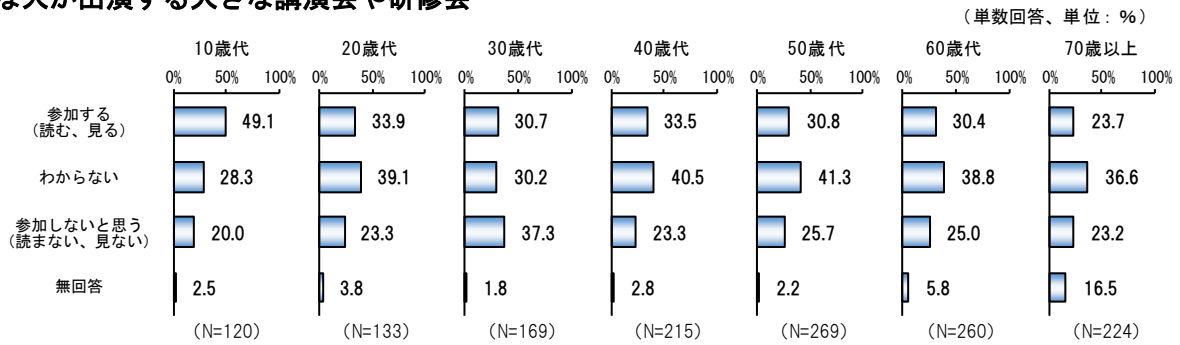
第3位は、男性が「職場での人権研修会」、女性が「テレビ・ラジオの広報番組」となっている。

「テレビ・ラジオの広報番組」が最も男女差が大きく、男性 (42.0%) よりも女性 (48.8%) の方が 6.8 ポイント高くなっている。

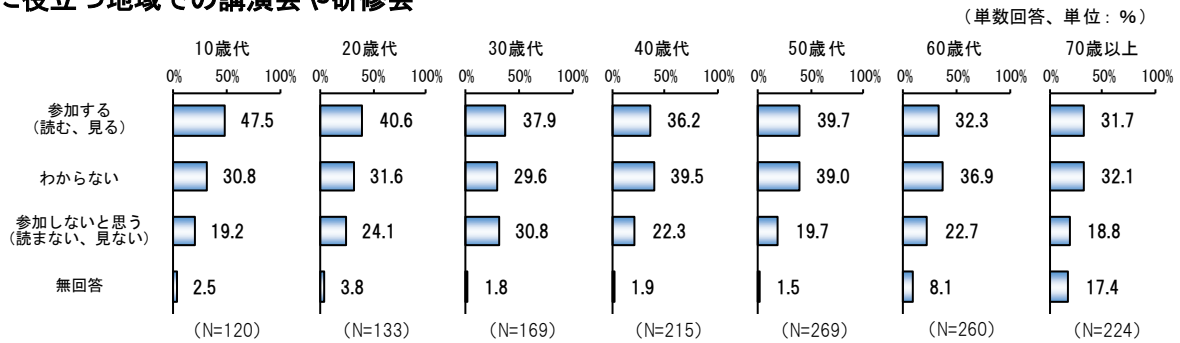
年齢別集計

※「参加する（読む、見る）」が示す割合は「ぜひ参加したい（読みたい、見たい）」と「たぶん参加する（読む、見る）」の割合を合計しています。

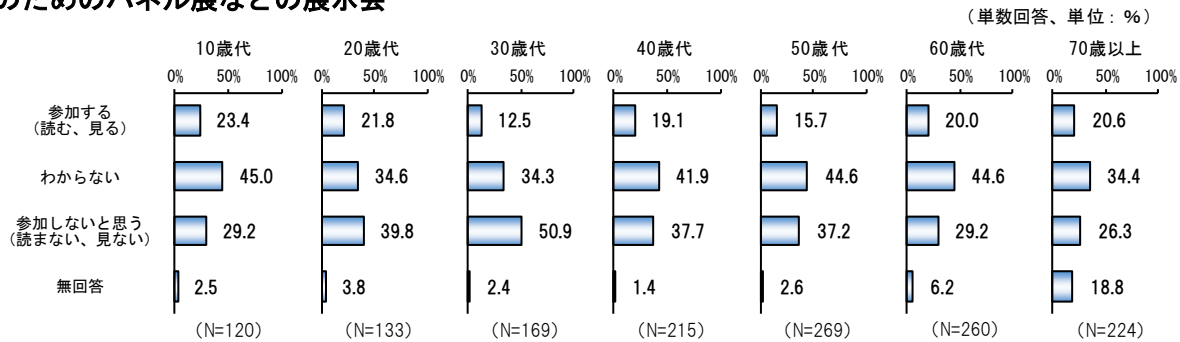
有名な人が出演する大きな講演会や研修会



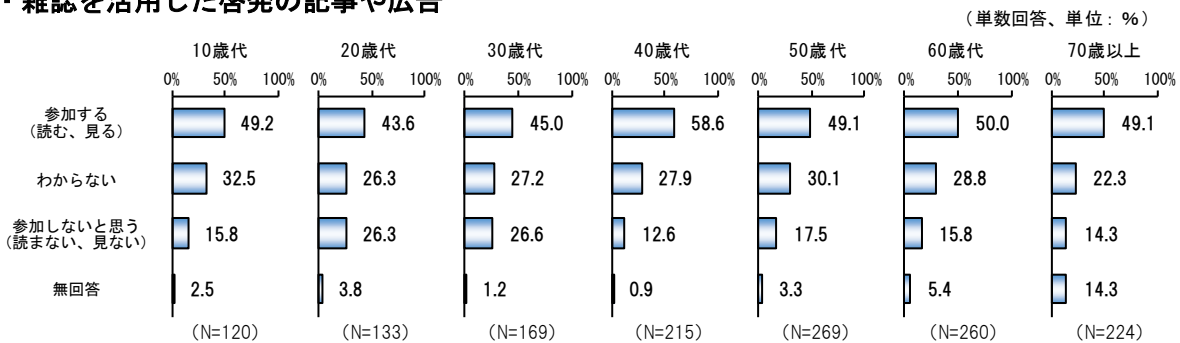
実務に役立つ地域での講演会や研修会



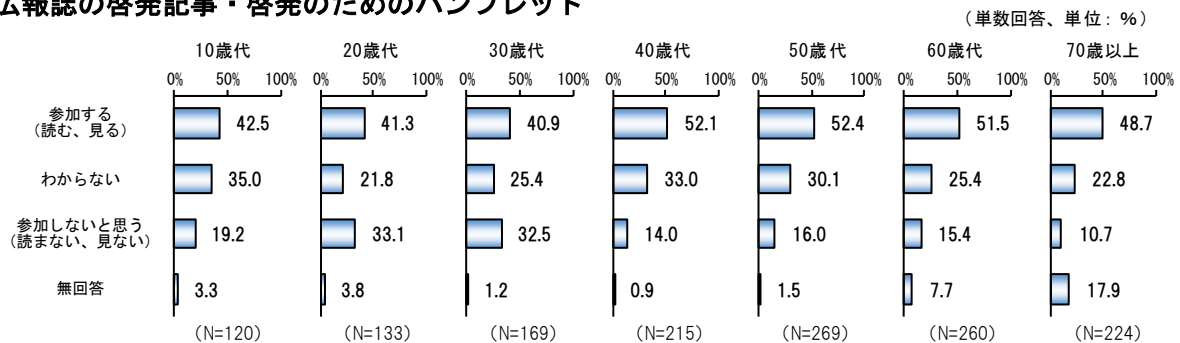
啓発のためのパネル展などの展示会



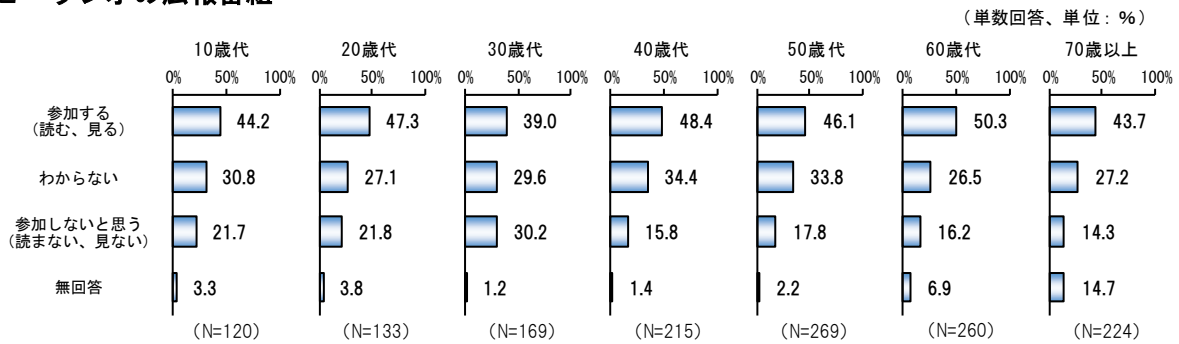
新聞・雑誌を活用した啓発の記事や広告



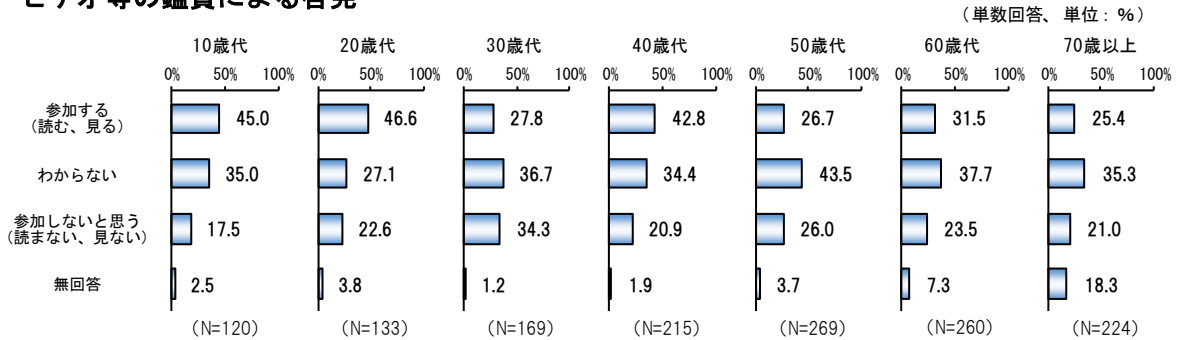
市の広報誌の啓発記事・啓発のためのパンフレット



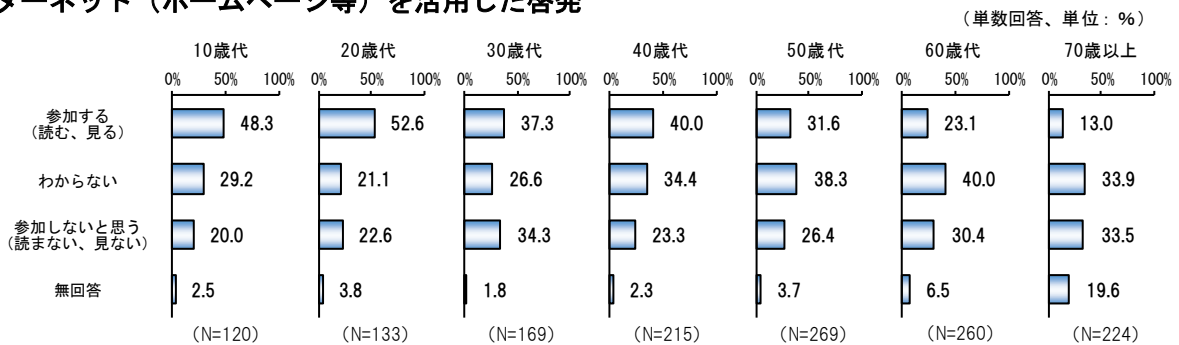
テレビ・ラジオの広報番組



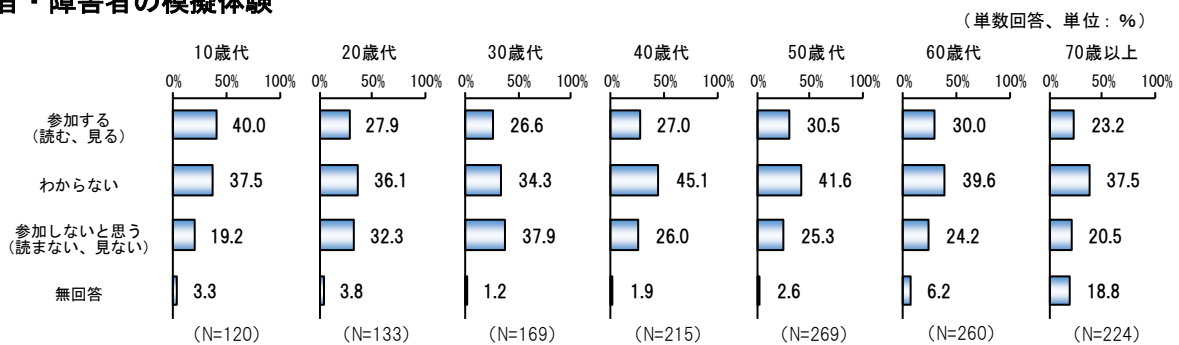
映画・ビデオ等の鑑賞による啓発



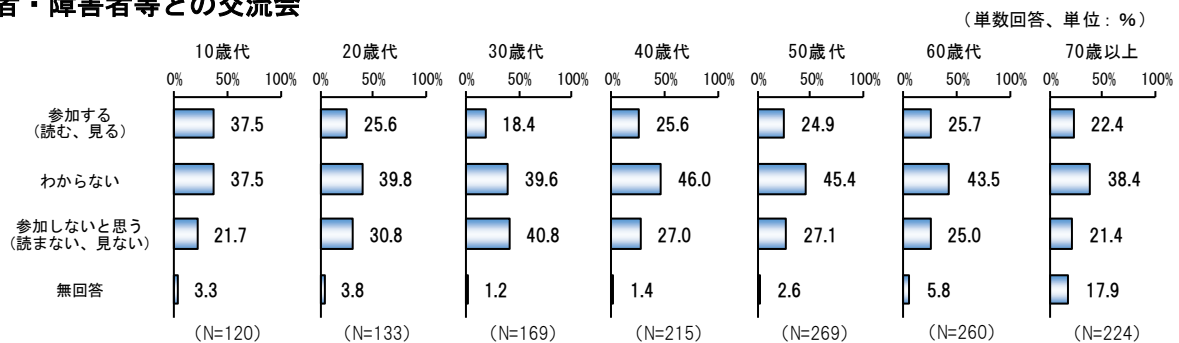
インターネット（ホームページ等）を活用した啓発



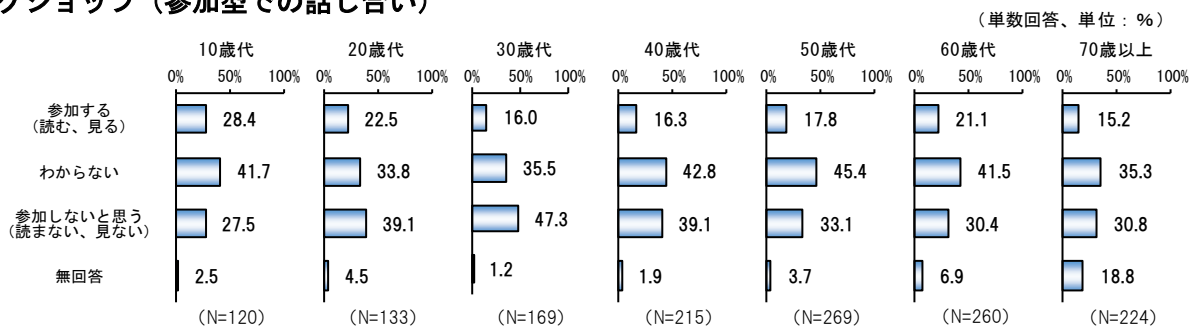
高齢者・障害者の模擬体験



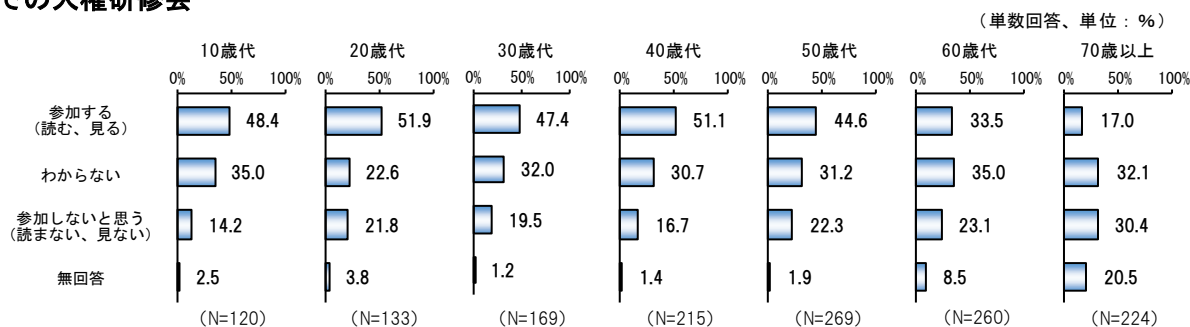
高齢者・障害者等との交流会



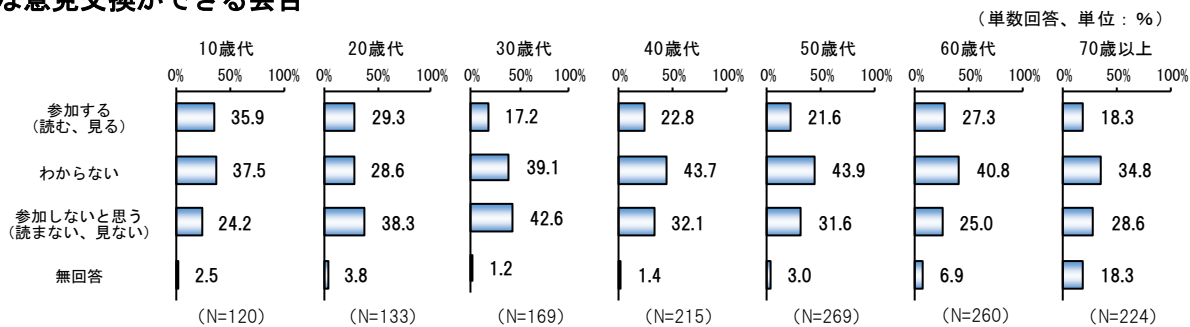
ワークショップ（参加型での話し合い）



職場での人権研修会



自由な意見交換ができる会合



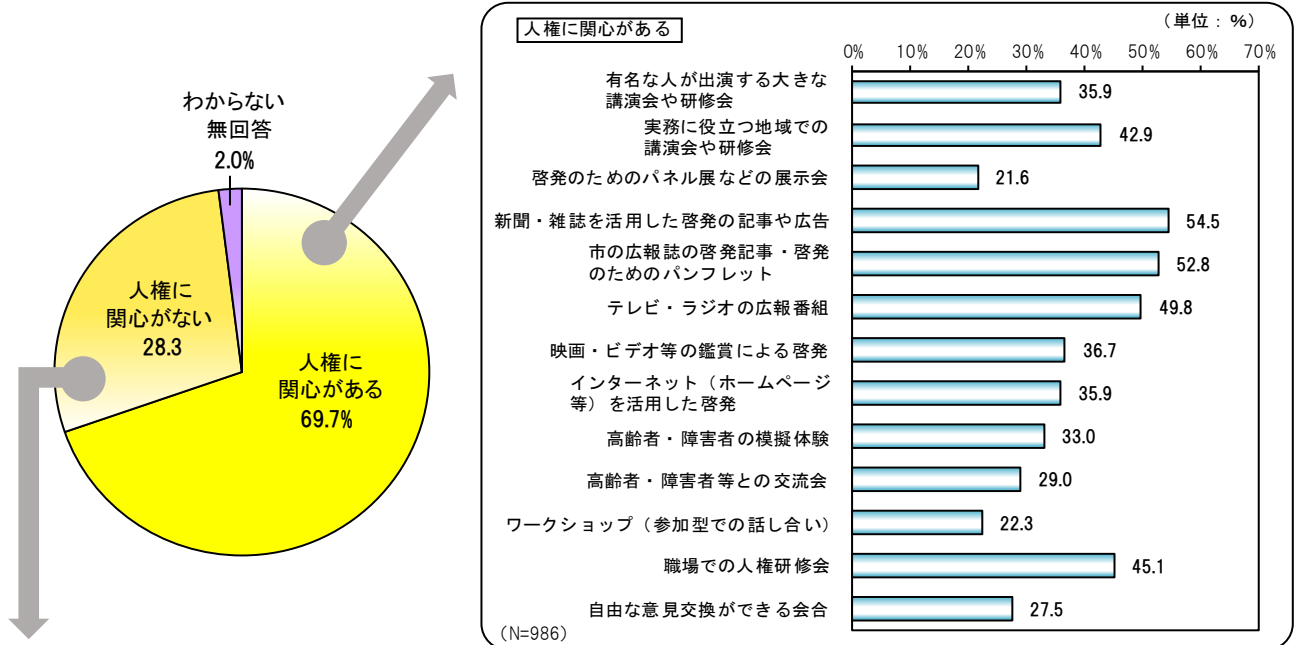
年齢別でみると、「ぜひ参加したい (読みたい、見たい)」と「たぶん参加する (読む、見る)」を合わせた「参加する (読む、見る)」割合は 10、40 歳代、70 歳以上が「新聞・雑誌を活用した啓発の記事や広告」、20 歳代が「インターネット (ホームページ等) を活用した啓発」、30 歳代は「職場での人権研修会」、50、60 歳代は「市の広報誌の啓発記事・啓発のためのパンフレット」の割合が最も高くなっている。

クロス集計

問1で人権に関する関心度の回答者が問42の啓発の取組みについてどのような回答をしているかをみると、人権に関心が「ある」と回答した人、「ない」と回答した人ともに「ぜひ参加したい（読みたい、見たい）」と「たぶん参加する（読む、見る）」を合わせた割合は「新聞・雑誌を活用した啓発の記事や広告」が最も高く、次いで「市の広報誌の啓発記事・啓発のためのパンフレット」、「テレビ・ラジオの広報番組」の順となっている。

人権に関心が「ある」と回答した人、「ない」と回答した人の回答割合の差が最も大きい項目は「実務に役立つ地域での講演会や研修会」で、「ない」と回答した人よりも「ある」と回答した人の方が20.2ポイント高くなっている。

◆人権に関心がある回答者が参加したいと回答した啓発活動等



◆人権に関心がない回答者が参加したいと回答した啓発活動等

